

# 低侵襲で、 より高い予防効果を



**SMART  
PIEZON**

エアフロー   
ペリオフロー   
PSチップ 

1. バイオフィルムを可視化し
2. まずはエアフローを行います
3. 残った歯石はピエゾンチップPSで
4. 粉の消費や手用器具の使用を控えます
5. ラバーカップや研磨ペーストでの仕上げは不要です



# GBT<sup>®</sup>は 新しいアプローチです



**"I FEEL GOOD"**

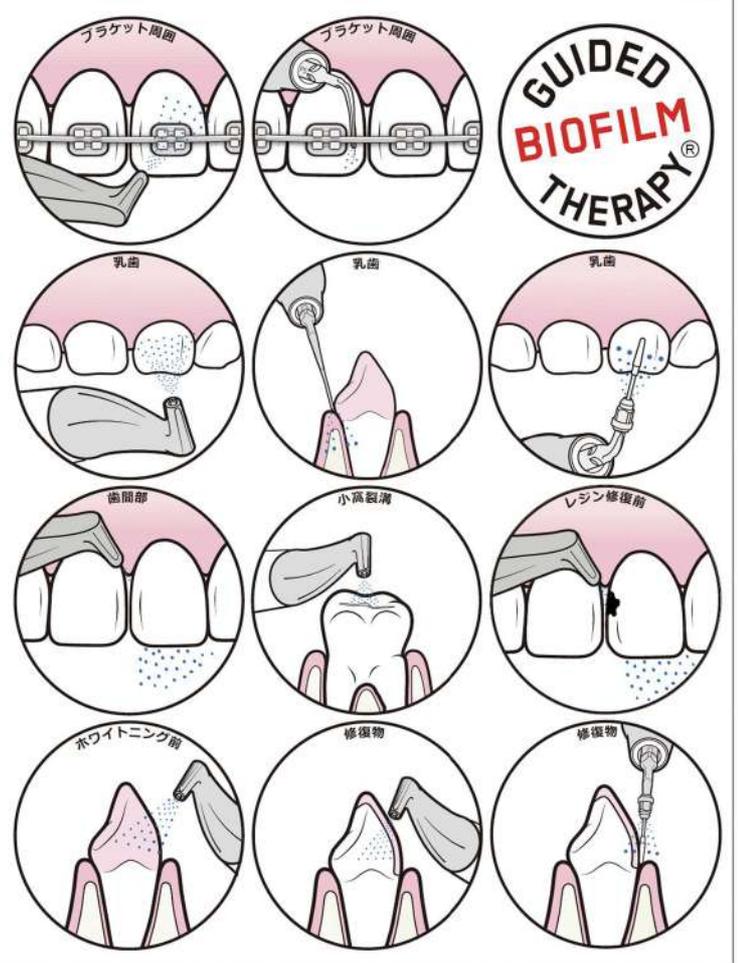
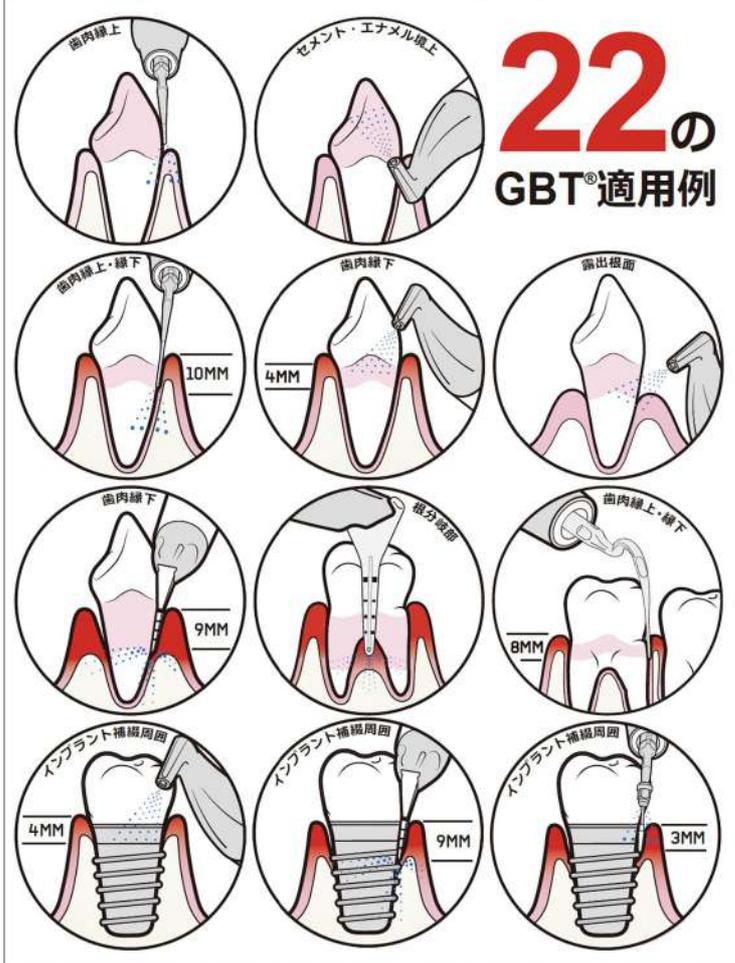
- ▶ 患者さんへよりすぐれた清掃品質を
- ▶ スイスで開発されたオリジナル製品を

**GBT®**は天然歯やインプラントを

含め幅広く対応しています



**22**の  
GBT®適用例



# GBT®プロトコールの

# 8ステップ



## 08 新たなリコール予約

歯内の健康 = 生活の向上

- ▶ リスク分析に従い、リコール時期を計画する
- ▶ 患者さんに治療の評価をしてもらう

## 07 指差し確認

患者さんを笑顔に

- ▶ バイオフィームの取り残しがないかどうか最終確認をする
- ▶ 歯石が完全に除去されたかをチェックする
- ▶ 齲蝕の有無を正確に歯科医師が診断する
- ▶ 歯面にフッ素を塗剤して保護する

## 06 スマートピエゾンとチップPS

残った歯石の除去

- ▶ 歯肉縁上と縁下10mmまでには、低侵襲のピエゾンチップPSを使用する
- ▶ 10mm以上のポケットにはミニキュレットを使用する
- ▶ 縁下3mmまでのインプラント補綴周囲や修復物には、ピエゾンチップPIを使用する

## 05 歯肉縁下のペリオフロー

4mmから9mmまでの

歯周ポケット内のバイオフィームを除去

- ▶ 天然歯の深いポケット内、根分岐部やインプラント周囲粘膜炎には、エアフローパウダーブラスを使用する
- ▶ ポケットの深さがわかる目盛り付きのペリオフローノズルを使用する

## 01 評価

ブローピングと口腔内状況の確認

- ▶ 健全な歯牙なのか、齲蝕、歯肉炎、歯周炎なのか
- ▶ 健全なインプラント補綴なのか、インプラント粘膜炎、インプラント周囲炎なのか
- ▶ まずは洗口剤で洗口する

## 02 染出し

バイオフィームの可視化

- ▶ 染出し液で染出されたバイオフィームと問題のある部位を患者さんに説明する
- ▶ 染色がバイオフィーム除去の目安になる
- ▶ バイオフィームが除去されると、歯石の検出が容易になる

## 03 情報提供

患者さんの意識向上と指導

- ▶ 予防の重要性を強調する
- ▶ 口腔衛生について患者さんに指導する
- ▶ 個々の患者さんに合わせた清掃器具を推奨する

## 04 歯肉縁上・縁下のエアフロー

バイオフィーム、ステイン、早期歯石を除去

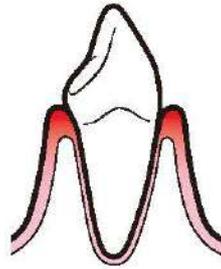
- ▶ 天然歯、修復物やインプラントには、エアフローを使用する
- ▶ 14 $\mu$ mのエアフローパウダーブラスを用いて、歯肉縁上・最深4mmまでの縁下のバイオフィームを除去する
- ▶ エアフローパウダー レモンを使用して、エナメル質上に残っているステインを除去する

# GBT<sup>®</sup>の目的は、

## 歯肉炎

染出し液は、初期および成熟したバイオフィルムを可視化します。

歯肉溝部位(歯肉辺縁)において、不十分な歯磨きにより手付かずに残っている成熟したバイオフィルムを検出します。



こちらの症例でのGBTの効果は、エアフローパウダープラスを噴霧した歯肉縁下3mmの範囲内に限られました。歯肉辺縁からの出血(赤い線)は、軽度の歯肉炎を示しています。GBTは、正しい歯磨き法を習得するという患者さんのやる気を育てます。

▶ GBTは、歯肉炎の予防と治療に役立ちます。



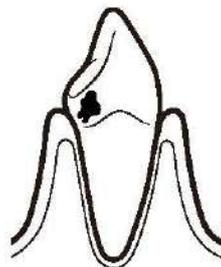
染出し前



染出し前

## 齲蝕検出

正確な齲蝕の検出には、きれいな歯面である必要があります。こちらでは、染出し液を用いて、歯間および歯肉辺縁におけるバイオフィルムを染出しています。最終的に、GBTで進行する歯間の齲蝕を明らかにします。



▶ GBTは、齲蝕の正確な検出に役立ちます。

▶ バイオフィルムをなくすことは、齲蝕を防げるということです。



染出し前

## インプラント

この一連のインプラント周囲炎では、エアフローで縁上および縁下のバイオフィルムを最深4mmまで除去します。染出し液によるバイオフィルムの可視化は、治療時間を最小限に縮めるのに役立ちます。ペリオフローでインプラント周囲溝のバイオフィルムを最深9mmまで除去します。最後に、ピエゾンチップPIでインプラント周囲の残存歯石を除去します。



▶ GBTは、インプラント周囲炎の進行を低侵襲な方法で遅らせると言われています。



染出し後

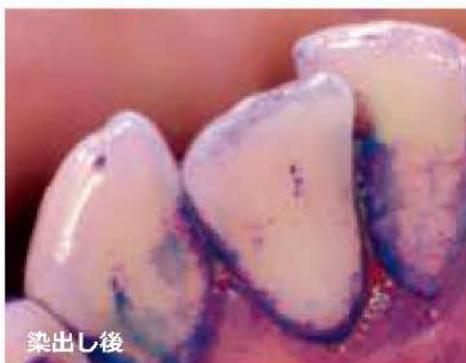
# 天然歯、インプラント補綴上のすべての バイオフィルムを除去することです。



染出し後



GBT後(結果を保証するものではありません)



染出し後



GBT後(結果を保証するものではありません)

写真提供 : Prof.Magda Mensi



染出し後



GBT後(結果を保証するものではありません)

写真提供 : Mr.Beverly Watson



エアフロー



ペリオフロー



ピエゾン

写真提供 : Prof.Magda Mensi

# GUIDED BIOFILM THERAPY

# その他の症例



## 小児

こちらの症例では、2トーンの染出し液を使用し、齧蝕原性バイオフィルムを可視化することで、目視確認が可能となり、子ども達のモチベーションを高めるのに役立ちました。子ども達は、エアフローを気に入るでしょう。エアフローは子ども達の興味を引き、治療に対する恐怖を取り去ります。



▶ 痛みを抑えたGBT法は、子ども達のモチベーションを高め、齧蝕の予防に役立ちます。



染出し前



染出し後



GBT後(齧蝕を促進するものではありません)

写真提供: Dr.Gleb Aseev

## 歯列矯正

歯列矯正装置周囲は、バイオフィルム管理を行う患者さんや専門家にとっての課題です。3トーンの染出し液を使用すると、ホームケアでは届きにくい部位の齧蝕原性バイオフィルム(pH < 4.5)も可視化されて、目視で確認できるので、患者さんのモチベーションを高めます。



GBTでエアフローパウダープラスを用いることで、清掃前には識別できなかった脱灰歯面のホワイトスポットが視認しやすくなります。

- ▶ GBTは、歯列矯正治療中の齧蝕の発生原因を除去します。
- ▶ GBTは、歯列矯正装置の維持に役立ちます。



染出し前



染出し後



GBT後(齧蝕を促進するものではありません)

写真提供: Dr.Gleb Aseev

## 露出根面

通常、露出根面でのバイオフィルムと歯石の除去は、患者さんの快適性(知覚過敏症)とオーバーインスツルメンテーションのリスクの観点から重要です。染出されたバイオフィルムは、エアフロー治療を最小限に抑え、時間を節約するのにも役立ちます。(染出し液による)着色部位がないということは、バイオフィルムがそこになくということです。エアフローパウダープラスやスマートピエゾンとピエゾンチップPSは、高品質でより優しい治療のために役立ちます。



▶ GBTは、露出根面を保全して、知覚過敏症の緩和に役立ちます。



染出し前



染出し後



GBT後(齧蝕を促進するものではありません)

写真提供: Prof.Magda Mensi

## ステインと歯石

エアフローでステインを除去し、ピエゾンチップPSで歯石の除去を促すことで、他の電動器具を用いたインスツルメンテーションを最小限に抑えます。



▶ GBTは、患者さんを再び笑顔にします。



GBT前



GBT後(齧蝕を促進するものではありません)

# スイスのEMSが誇る

## エアフロー プロフィラキシス マスター



1

THE CHICAGO  
ATHENAEUM

2018



技術の発明者によるオリジナル開発。スイスの精度と優れたデザインを提供。優れたパフォーマンス、信頼性、エビデンスに裏付けられたノウハウ。

1981年の創業以来、EMSは予防歯科に特化してきました。

1 シカゴ・アテナイオン建築・デザイン博物館のグッドデザイン賞は、インダストリアルデザインの世界で最も重要なデザイン賞のひとつです。

# スイスオリジナル



専用ステーションで、スッキリ、使いやすく



スイス製のエアフロープロフィラキシスマスターは、EMS研究センターで開発され、世界中の主要な歯科専門家と協力して10万時間以上の技術的および臨床的試験を行っています。

販売名	一般的名称	承認・認証・届出番号
エアフロー プロフィラキシスマスター	歯科用多目的超音波治療器	管理医療機器 医療機器認証番号 230ALBZI00001000 特定保守管理医療機器

※使用前に取扱説明書及び添付文書をよくお読みください